

東北地方太平洋沖地震の被災者、ご家族、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日でも早い復興に協力し心より祈念いたします。

第4号で治験を担当している先生にお話を伺いました。

今回は、**製薬会社の開発担当者さん(モニターさん)**にインタビューしました!!



嬉しかった出来事 は？

モニターAさん:1つは、**患者さんが無事にエントリーした時**ですね! 頻繁に先生に面会に行き、思いが伝わった事が実感できる一瞬です。

もう1つは、**無事に治験が終了した時**です! 無事に患者さんも治療が終わり、長かった治験が終了したときですね。モニターにとってはホッと一息つけるときです。

モニターBさん:患者さんのデータがよくなると嬉しいです。モニターは患者さんと直接お会いすることはありませんが、**自分の事の様に嬉しくなります。**

困った出来事 は？

Bさん:せっかく治験に参加していただいたのに**お薬の飲み忘れが多く、データがうまく取れなかった時**です。

もう一つは、**順調に参加していたのに、急な転居にて連絡が途絶えてしまった時**です。**治験を中止するときには一報ご連絡を頂きますと幸いです。**

モニターって なんですか？

Aさん:薬の開発マン!!です。

治験に参加した患者さんのデータが正しく測定されているか、ルールから外れて治験を実施していないか等を**調査、分析、確認**しています。

つまりは、お薬を開発するに当たりモニターが細かくチェックして**治験の適切な実施とデータの信頼性等を検証**しているのです!



きっかけ を教えてください。

Aさん:薬の開発に携わりたかった! 一言でいうと、これですね。

日本の今日の治験 についてお願いします。

Aさん:欧米とは違い、まだまだ日本は**書類が多い治験**だと思います。日本の治験は**実施医療機関の長(院長)との契約**となりますが、**外国のように医師個人での契約**が出来るとなれば、幅の広い治験が出来るとなると思います。

モニターさんから 一言お願いします。

Bさん:製薬会社は1つの治験で沢山の病院と契約しています。なので日々いろいろな病院を回り、**多くの先生と治療効果について検討し、患者さんの安全性にも配慮**しています。治験はまだ身近なものではないかもしれませんが、**安全性については医師の方々もCRCさんもしっかりフォロー**していますので、是非治験に参加していただくと嬉しいです。

7月10日(日)市民講座in厚木市文化会館!!

全国どこでも受付致します。“安心・安楽・迅速”がモットーの“なかよし薬局”です。

Supported By **なかよし薬局**

2011年4月発行

Suppecial Thank's: **某製薬会社のモニターさん**

Editor: **さいとう**

船子店:046-220-6868

高森店:0463-90-2311

愛川店:046-284-2227

関口店:046-244-1011

愛甲店:046-248-7622

妻田店:046-222-2801

局前店:046-284-5200

恩名店:046-296-5533

酒井店:046-226-8222